



試 験 報 告 書

株式会社 ふじもと組 殿
岡山県津山市加茂町塔中77-1

試験品内容： [種 別] JIS A 5308:2019 附属書A「レディミクストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用碎石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用碎石 2005 A (岩質：安山岩)
[大 き さ] 20～5mm
[採 取 日] 2023年11月6日
[産 地] 岡山県津山市加茂町知和
[採 取 場 所] スtockヤード
[製 造 業 者] (株)ふじもと組

試 験 項 目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日(試料持込日)： 2023年 11月 10日

試 験 日： 2023年 11月 10日 ～ 2024年 5月 22日

試 験 結 果： 次頁以降のとおり

特 記 事 項： ー

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西試験センター 試験室

- (注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対する結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2024年 5月 24日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西試験センター

所 長 佐野 弘明

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構



1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

- (1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。
 ・粒度調整した代表試料の粒度分布 : 粒度区分A
 ・湿度95%以上を確保した手段 : 吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

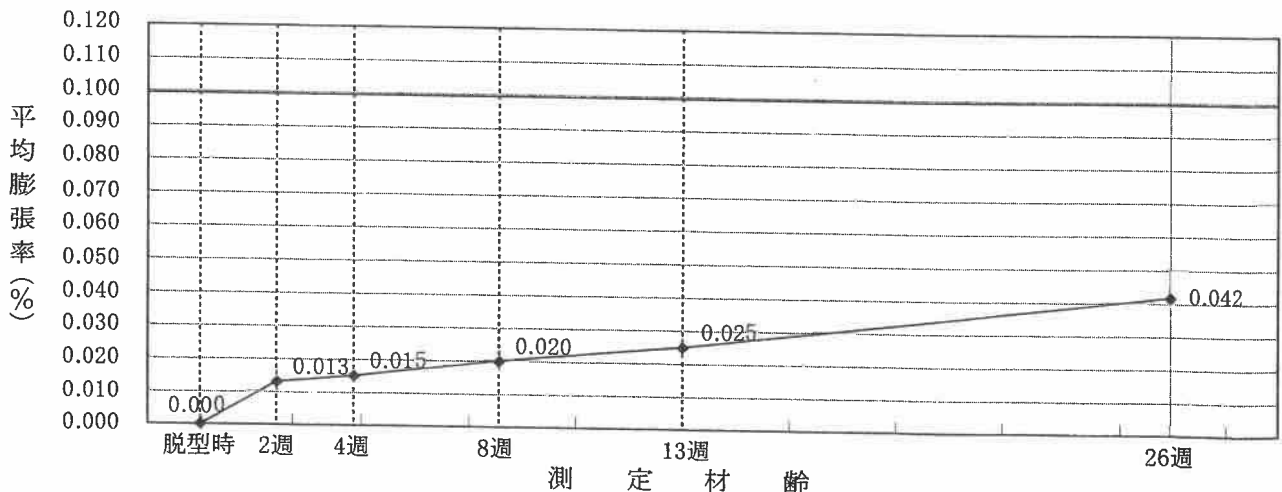
- (2)使用したセメント
- ・種別 : 普通ポルトランドセメント
 - ・販売会社名 : 一般社団法人 セメント協会
 - ・酸化ナトリウム(Na₂O) 0.27 %
 - ・酸化カリウム(K₂O) 0.38 %
 - ・全アルカリ量(R₂O) 0.52 %
 - ・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %

- (3)判定基準 骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考] なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。

(4)試験結果

膨張率 (%)	測定材齢	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
	試験No.							
1	—	0.013	0.015	0.021	0.025	0.043	無害 ✓	
2	—	0.013	0.014	0.021	0.026	0.043		
3	—	0.013	0.015	0.019	0.023	0.039		
平均	0.000	0.013	0.015	0.020	0.025	0.042		
外観観察	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		



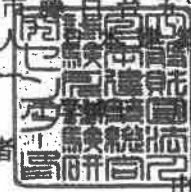


JNLA Z90119JP

試験番号	VE-23-0250追1
受付日	2023年 8月31日
報告日	2024年 4月 3日

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)報告書

大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
 一般財団法人 日本建築総合試験所
 試験研究センター
 センター長
 報告書発行責任者
 材料試験室長
 由本 篤史



依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	所在地	京都府宮津市字須津413

試験実施期間	2023年9月27日 ~ 2024年3月27日
--------	-------------------------

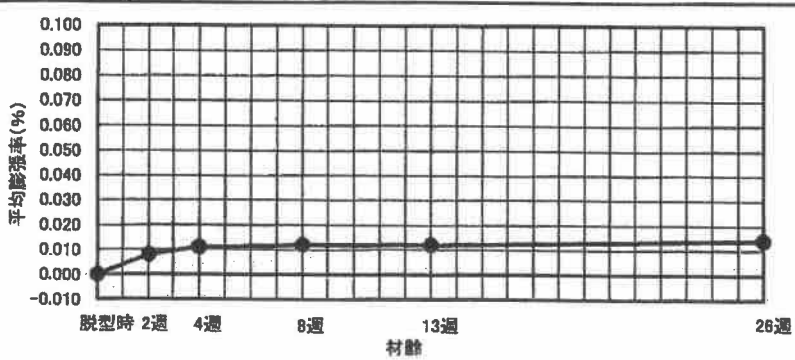
試料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド)
	産地*	京都府宮津市字須津413
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	採取日*	2023年8月29日
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼
	工事名*	_____
	備考	2023年8月31日に当センターへ搬入された。



セメントの全アルカリ	酸化カリウム(K ₂ O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na ₂ O): 0.27%、全アルカリ(Na ₂ Oeq): 0.52%
------------	---

試験方法	「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A-5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部 コンクリート実験室にて行った。
------	---

試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.008	0.011	0.013	0.013	0.015	無 害
	2	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	
	3	0.008	0.012	0.013	0.013	0.014	
	平均膨張率	0.008	0.011	0.012	0.012	0.014	
平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。							



担 当	材料部 材料試験室	試験責任者	澁井 雄斗	試験担当者	丹羽 大地
-----	-----------	-------	-------	-------	-------

*: 試験依頼者の情報による。